

中学校 特別活動 部会

部会長名 校長 栗林 秀幸

執筆者名 教諭 森方 良一

1 研究主題

自主的・実践的な態度を養う修学旅行の取組

～一人一人の役割・目的を意識させる活動を通して～

2 主題設定の理由

(1) 社会の要請から

経済や文化のグローバル化や人工知能の進化など、急速に社会は変化しており、生徒達が社会で活躍する頃には、我が国は厳しい挑戦の時代を迎えると予測される。また、そのような社会と複雑な人間関係の中で、生徒たちは新しい未知の課題に試行錯誤しながら対応することが求められる。そのため、生徒たちが望ましい集団活動や体験的な活動を通して、よりよい生活や人間関係を築こうとする自主的・実践的な態度を養っていく必要性があると考えられる。

(2) 学校教育目標から

校訓 勉学は生命 正しい友情 輝く学校

学校教育目標 大任中A C T

自立 (Action) する生徒 協働 (Communication) する生徒

創造 (Thinking) する生徒

本校の教育目標を達成するためには、生徒達が自らの能力を発揮し、学習して得た知識や経験を活用して、課題に対して主体的に解決していく力をつけなければならない。そのため、特別活動の中で、自主的・実践的な態度を養うことは大変意義深いことである。

(3) 生徒の実態から

本校の生徒は、行事には積極的に参加することができている。合唱コンクールや体育会などでは、ブロック制において異学年集団の中で互いに高め合い、行事を成功に導くことができている。しかし、自分たちのやらなければいけないことであっても、面倒くさいと思ったことや、やりたくないものについては積極性を失い、教師に指導を受けてしまう場面もある。そこで、生徒たちに自分たちの役割や係の目的を意識させる場面を作ることが、仲間とともに協力してよりよい学校生活や人間関係を築こうとする態度を養うことにつながると考える。

3 主題の意味

(1) 「自主的・実践的な態度を養う」とは

自分から主体的に集団活動や体験的な活動に参加して、他の生徒とともに協働する態度を養うことである。

(2) 「一人一人の役割・目的を意識させる活動」とは

自分たちの持つ係の仕事の内容と目標を常に念頭に置いて行動させる活動である。

4 研究の目標

生徒一人一人に役割・目的を意識させる活動を取り入れることで、修学旅行の取組に主体的に参加し、自主的・実践的な態度を養うことを目指す。

5 研究仮説

生徒が話し合って自分たちの係の目標を決定し、一人一人が必ず行う仕事内容を持たせる。そして、自分たちの係の仕事について振り返りを行うことで、よりよい学校生活や人間関係を築くことができるであろう。

6 研究の計画

(1) 単元「修学旅行」

(2) 単元の目標及び指導計画

- 実行委員を中心に主体的な取組を行っていく中で、集団の一員として自覚を高め社会生活に必要なマナーやルールを守る資質を高める。
- 集団で行動し生活を共にすることで、互いに協力し、助け合い、仲間同士の心のつながりを深め、中学校生活の良き思い出をつくる。

2年生	特別活動	関連する総合的な学習
11月	○班別自主研修の班決め(1) ○実行委員決め(1) ○行動班決め(1) ○係会(2)	○班別自主研修コース決め(3)
12月	○学級会(1)・・・本時 ○部屋割、バス座席割決め(1) ○新幹線座席割決め(1)	
1月	○修学旅行(2泊3日)	○事前指導(1)
2月		○修学旅行発表会(6)

7 指導の実際

学 習 活 動	指導上の留意点	配 時
<p>1 本時の学習内容を確認する。</p>	<p>○前時に確認した修学旅行に向けての学年目標を改めて確認し、本時の学習内容の確認を行う。</p>	<p>10分</p>
<p>修学旅行の学年目標をもとに各係の目標や仕事内容を全体で確認しよう。</p>		
<p>2 係ごとに目標と仕事内容について発表し、質疑応答する。</p> <p>○班長</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>目標 班長として責任を持ち、班をまとめられるようにがんばろう！</p> </div> <p>○生活</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>目標 服装頭髪違反「0」！ 旅館や公共の場で、みんなできれいに使い、礼儀正しく、中学生らしい態度をとろう！！</p> </div> <p>○美化・食事</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>目標 感謝 ～来たときよりも美しく、一人ひとりが自覚と責任をもって～</p> </div> <p>○保健</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>目標 元気よく みんなへの気づかいを忘れずに 「みんな健康で、ケガ人『0』！」</p> </div>	<p>○係ごとに目標と仕事内容について発表を行わせる。</p> <p>○自分が何をしなければならないのかを発表することで自覚を持たせるようにする。</p> <p>○各係の目標や仕事内容について質疑応答することで、自他の仕事について再確認させる。</p> <p>○各係の目標や仕事内容はしおりに掲載し、旅行中すぐに確認できるようにする。</p>	<p>30分</p>
<p>3 教師のまとめを聞き、感想を書く。</p>	<p>○生徒の目標を再度確認し、各係の目標を目指し、仕事内容を全うすることが有意義な修学旅行にするために必要であることに気づかせ、これからの取組に向かう意欲を喚起する。</p>	<p>10分</p>



【写真1 修学旅行の取組中の生徒の様子】

- 学年目標を他の班長と協力して話し合うことができた。
- 班員をまとめることを中心に、一つ一つの仕事に全力で取り組むことができた。
- 班の人が嫌な気持ちにならないように系の全員で話し合うことができてよかった。
- 班長として自覚を持つことができた。
- その場に合わせた行動を心がけた。

【資料1 係活動についての振り返り】

8 成果と今後の課題

(1) 成果

- 係ごとに自分たちの目標について話し合う活動や自分たちで仕事内容について確認する活動を通して、修学旅行本番でも自主的に係の仕事を行うことができた。
- 仕事内容について全体で確認することで誰の仕事かが明確になり、忘れていた生徒に対して声かけを行う生徒もいた。
- 色々な仕事を全うする他の生徒の様子を見て、努力している生徒を認めることができていた。

(2) 課題

- 自分たちの専門部の仕事に対して積極的に行えるような声かけや取組を行うことで、修学旅行だけではなく、これからの学校生活につなげることが重要である。
- 特別活動と総合的な学習との関連性を図りながら、取組の充実を図る。

◎ 参考文献

- 「中学校学習指導要領 特別活動編」 (文部科学省)